

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「憑の里へ来てちょ〜だい！」地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	両小野地区振興会 上伊那郡辰野町大字小野 1274-13 (0266-46-3588)
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	755,817 円 (うち支援金 : 566,000 円)

事業内容

辰野町小野と塩尻市北小野は、「憑の里」として行政の枠を超えた地域活動をしている。代表的なイベントである7年に一度の「小野御柱」県内外へのPR活動を強力に推進し、交流人口(誘客)の増加を図るために、「小野御柱祭観光推進協議会」を設置し、傘下に広報宣伝部会とホームページ運営委員会を設け活動した。統一ポスター・チラシ・リーフレット作成には、都合7回の広報宣伝部会を開催し、細部にわたり検討。ポスター1,300枚・チラシ3,000枚・リーフレット8,000枚を印刷し、各市町の官公庁・公共施設・観光案内所・商工会に配布、また県内外の官公庁・公共施設・観光案内所などに発送・配布を行った。



【広報宣伝部会】

【目標・ねらい】

- ① 観光広報で県内外へPR活動
- ② 交流人口(誘客)の増加
- ③ 御柱を契機に移住・定住に
- ④ 一体的な地域活動の充実

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ポスター・チラシ・リーフレットを作成し、配布と郵送を行った。
- ② ③ PRにより、ツアー客の入り込み、JR主催の駅からハイキングなどが行われる。また、ホームページに、リーフレットのマップを掲載したことにより、広範囲にわたり関心と呼び問い合わせなどが多くあるので、誘客の増加が期待できる。
- ③ 両地区から選出された住民代表が、広報宣伝部会を開催する中で地区の特性などを踏まえながら一体的な活動ができた。

※自己評価【 B 】

【理由】

継続活動のため、実質的効果は次年度となるが、準備活動としてのPRは予定していた効果が得られた

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

御柱を最大の観光広報の機会としてとらえ、県内外へのPR活動を強力に推進し、交流人口(誘客)の増加を図ることに力を注いだ。これを契機にホームページも活用(1/27開設以降日々アクセス件数が増加中)しながら、「両小野暮らし・小野御柱・観光」を結び付け、移住・定住につなげて行きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある